

【女子バレーボール部】 インターハイ予選県大会 結果報告

6月21日（火）（@深谷ビッグタートル）に、19人でインターハイ予選の県大会へ出場してきました。この代では初めての県大会でした。地区大会を突破してからミーティングをし、県大会の目標は“1勝以上” & “やりきる”こと。結果もちろん大切だけど、とにかく“やりきる”にこだわって、県大会に向けて練習してきました。以下、結果報告です。

1回戦 v s 入間向陽 2-1 (24-26、25-19、25-15) 勝

県大会1回戦は、いつも練習試合でお世話になっている入間向陽高校との対戦となりました。“公式戦前は入間向陽と定期戦”と名付けていくらい毎大会前に練習試合をし、“お互い県大会で会おう！”というような仲です。今回対戦が決まって、運命のようなものを感じました。お互い手の内が分かっているので、気持ちの勝負でした。1セット目は、滑総女バレの最大の課題“出だして流れが掴めるかどうか”が、緊張とプレッシャーから大失敗。レシーブを次々と外にはじき、全く流れが掴めません。流れに乗った相手は、得意のサーブで得点連発。中盤以降は滑総にも要所要所でいいプレーが出始め、ピンチサーバーとして途中出場した内田（2年）のサーブから流れを掴んで終盤に何とか追いつきますが、序盤に失った点数は取り戻せずに、万事休す。24-26で落としてしまいました。

“やりきる”が全く達成できていない。このままだと悔いしか残らない。と選手たちは自らミーティングをしてお互いを鼓舞します。切り替えて入った2セット目。ここで意地を見せたのは、やはり3年生3人でした。セットの序盤に、キャプテンでエースの岡本（3年）の良いサーブで相手を崩してチャンスももらい、部長でリベロの佐藤（3年）が声を出してそれを丁寧さばき、高校からバレーを始めたセッターの児玉（2年）が丁寧に確実なトスを上げ、副部長でエースの鈴木（3年）が力強いスパイクをノータッチで決めるといふ、滑総としては理想すぎる形が飛び出しました。もうこうなれば、流れは完全に滑総。スタメンもちろん、途中出場した1年・2年も確実に仕事をこなし、終始いい流れで2セット目を奪取。勢いそのままに、3セット目もと、2-1で勝利しました。

試合後に、入間向陽の先生から“前回の練習試合よりもみんな上手くなっていた。特に3年生3人が本当に成長していて、見違えるほどだった。悔しいけど、完敗です。”と声をかけていただきました。生徒と顧問はいつも一緒に練習しているので、なかなか日々の成長を実感するというのは難しいですが、そうやって他の学校の先生から言ってもらえるということは、本当に成長したんだと嬉しくなりました。3年生パワーは偉大です…！

2回戦 v s 秋草学園 0-2 (18-25、14-25) 負

県大会2回戦は、秋草学園高校との対戦でした。力のある私学で、経験値も豊富です。名前負けだけはしたくない…！と思いましたが、やはり相手の方が気持ちにもプレーにも余裕があり、完敗でした。もちろん、そういう相手にも通用するプレーもありましたし、ちゃんと自分たちでもぎ取った点数もたくさんありました。ラリーに持ち込めれば、互角に戦える相手だったかなと感じます。ただ、やはり力の差は“サーブ”に表れていたかなと思います。いいサーブを、いいタイミングで、いいコースに確実に打ってくる。相手との大きな差はそこでした。サーブで崩されてしまい、繋ぐだけ。何とか攻撃したいという気持ちがボールに乗りますが、不運にも二段トスがネットに近すぎてしまって打ち切れない…。流れを掴むことは出来ませんでした。

“やりきる”という目標を達成できた人もいれば、悔いが残った人もいたようです。そんな中でも、相手から学ぶことが多くありました。バレーボールに向き合う姿勢やプレー、ゲームの運び方、流れを掴んで離さない方法等、私（顧問）自身もたくさん学ばせていただきました。結果は悔しいですが、価値のある敗戦でした。

このチームになって、“地区大会で2勝以上”“県大会出場”という数字的な目標を掲げて1年間やってきました。地区大会で2勝以上という目標は残念ながら達成できませんでしたが、県大会出場という目標は達成し、そこで立てた“県大会1勝以上”“やりきる”という目標も達成しました。目標を達成するという事は、容易なことではありません。今回、こんなにたくさんの目標を達成できたのは、日頃から支えてくださる保護者の皆様、先生方、部員の友達、その他多くの皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

今大会から保護者の観覧が可能となり、3年生の保護者のみでしたが、コートサイドで選手たちに力を与えてくれた保護者の方々には、感謝の気持ちでいっぱいですし、外からの応援の力は偉大だと改めて感じました。今回は直接観覧は出来ませんでしたが、1・2年生の保護者の方も送迎等で協力いただき、感謝のみです。コロナ禍が早く収束し、たくさんの保護者の方に、コートサイドで力を与えていただきたい…と強く思いました。本当にありがとうございました。

チームはこの後、期末考査期間で長いOFFに入ります。期末考査後に、次の大会に向けて、どのようにチームを作っていくかのミーティングをし、再始動します。暑い夏になりそうですが、また次の大会に向けて頑張りますので、今後も応援よろしくお願ひいたします！

顧問：真貝



対戦相手	スコア
細田学園	25-20
本庄第一	25-17
埼玉平成	25-11
川越初雁	25-0
山村学園	25-18
幸手桜	25-13
草加南	25-12
聖蓮学園	25-17
ふじみ野	25-15
川越女子	24-26
埼玉栄	25-23
朝霞	25-20
川口市立	27-25
朝霞西	25-13
松伏	25-11
本庄	25-16
浦和一女	27-26
花咲徳栄	25-15
正智深谷	25-11
越谷西	25-17
深谷第一	25-22
越谷ケ谷	25-21
和光国際	25-15
越谷南	25-20
本庄東	25-24
埼玉ケ谷	25-23
上尾	25-14
川越総合	25-6
大宮	25-11
西武台	25-17
所沢中央	29-27
いずみ	25-11
秋草学園	25-18
入間向陽	24-26
滑川総合	25-17
小川	25-9
狭山ヶ丘	25-18
星野	25-11
熊谷農業	25-18
県立川口	21-25
浦和黒	15-25
深谷商業	25-10
坂戸西	25-22
春日部女子	25-17
庄和	25-23
飯沼明	25-20
黒平	25-5
春日部東	25-7
聖宮	25-9
草加	27-25
栄北	25-18
越谷北	25-14
秩父農工科学	25-21
市立川越	25-8
大宮東	25-13
伊奈学園	25-16
市立浦和南	19-25
国際学院	25-21
不動岡	25-18
上尾鹿の台	21-25
久喜	25-12
越谷女子	25-15
坂戸	25-26
大宮南	25-14
大妻嵐山	25-15
武南	22-25
浦和北	25-19
浦和	25-13
狭山清陵	25-12
淑徳与野	25-20
春日部共栄	25-23
春日部共栄	25-12